

議長定例記者会見 会見録

日時：平成30年1月10日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

みえ現場 de 県議会「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」の開催について

2 質疑項目

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

みえ現場 de 県議会「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」の開催について

今年の抱負について

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

議会改革について

伊勢神宮の参拝について

1 発表事項

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

(議長) 皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は、県議会の情報発信に多大なるご協力いただきまして、感謝申し上げます。また引き続き、今年もよろしく願います。それでは今年に入ってから第1回目の定例記者会見ということで、2点発表させていただきます。第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について、発表させていただきます。お手元に配付しました資料をご覧ください。まず、この勉強会の目的ですが、資料にありますとおり、平成28年6月に改正公職選挙法が施行されたことにより、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、社会は大きく変わろうとしています。しかし、若者の政治参加への期待が高まる一方で、都道府県間の平均投票率の格差や、19歳の投票率の低さなど、新たな課題も指摘されております。このような状況を踏まえ、若者の政治参加が加速するために、県議会として何ができるのか、考えていきたいと思っています。日時・場所は、1月18日木曜日、13時から全員協議会室です。講師は、NPO法人 YouthCreate 代表の原田謙介さんをお願いをしまして、演題は若者と政治であります。この議員勉強会は、どなたでも傍聴可能ですので、関心をお持ちの方は、ぜひ三重県議会へお越しいただきたいと思っています。

みえ現場 de 県議会「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」の開催について

(議長) 次に、みえ現場 de 県議会「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」の開催について、発表させていただきます。具体的な内容につきましては、広聴広報会議議長である水谷副議長から説明させていただきます。

(副議長) 新年、明けましておめでとうございます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。それでは、私の方から、本年度第2回目となる「みえ現場 de 県議会」の具体的な内容につきまして、ご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。今回の「みえ現場 de 県議会」は、「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」がテーマであります。鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業の日本農業遺産への登録や、鳥羽市における「海女のまち条例」の制定など、海女と真珠に注目が集まる中、観光資源を活用した体験型観光・イベントによる交流を通じて、県内の各地域の魅力が国内外に広まりつつあります。今後も地域の資源を最大限に生かしながら、観光・交流を引き続き推進することで、地域の観光振興へとつなげていく必要があります。そこで、地域の観光資源や観光推進に関わっている方々、一般公募の県民の方から、地域の観光資源を生かしながら観光・交流を推進していく上での課題や県に期待すること等に関するご意見を直接お聞きし、今後の議会での議論に反映していきたいと考えています。日時は、1月22日月曜日13時30分から15時30分、場所は、鳥羽マリンターミナルの2階交流ラウンジであります。会議は公開で行い、どなたでも傍聴可能となっておりますので、報道機関の皆さまにおかれましては、事前の情報発信や当日の取材につきまして、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。私からの説明は以上です。

(議長) 本日の発表事項は以上であります。

2 質疑応答

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

(質問) これは誰でも傍聴できるということなんですけれども、参加費も無料ですか。

(議長) 無料です。

(質問) ちょうど一週間後ぐらいだと思うんですけど、こういう勉強会がありますということは既に広報されているんでしょうか。

(議長) チラシを作って配ったりという方法はとっておりません。ですから、昨年同様にマスコミの皆さんには、事前のイベント情報等の中へこれも入れていただけたら有難いなあとっております。

(質問) 今日これで資料提供ということですね。

(議長) はい。

(質問) わかりました。

(議長) よろしく申し上げます。

みえ現場 de 県議会「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」
の開催について

(質問) 事項2の方の、「みえ現場 de 県議会」の方なんですけども、海女や真珠など鳥羽志摩地域のことについて話すと思うんですけども、参加対象者の(1)の地域の観光資源や観光促進に関わっている方というのは、これはどのような方なんでしょうか。

(副議長) 今回の場合は、鳥羽志摩の海女漁業と真珠養殖業がですね、日本の農業遺産への登録や鳥羽市における「海女のまち条例」といった制定がありましてですね、そういったものを契機として捉えまして、観光・交流の推進、地域の観光資源を光輝くと、このようなことで狙いとしてはやっていくわけがあります。

(質問) 実際、参加される方がどんな方なのかなというのは。

(副議長) 3名はこちらから、広聴広報委員の方から推薦、あるいは発掘して出させてもらうわけなんですけども、1人目は岡田麻沙さんという方で、公益社団法人の伊勢市観光協会に所属されている方で、伊勢志摩の観光PRや魅力を発信するために活動を行ってみえる方でございます。2人目が中川早苗さんで、「民宿なか川」を営む一方で、全国でも珍しい3世代、おばあさんとお母さんと娘さんの海女で、中川さんは2世代、母として活躍をしておる方でございます。そして、もう一人は、森口弘美さんは、立神真珠養殖漁業協同組合の女子部に所属をされておまして、女性が買いたいものをコンセプトにアコヤ真珠を使ったリーズナブルなアクセサリー等の作製をされているということであり

まして、あと公募の方は4名はですね、それぞれ観光協会の会長をされている方とか、あるいは地域でそういったことに携わっている方が公募されておりまして、それが4名、出席させていただくということになっております。

今年の抱負について

(質問) 発表とは別なんですけども、新年最初ということで、議長と副議長に今年の抱負を語っていただければと思います。

(議長) その他の事項ということで、抱負を述べさせていただきたいと思えます。正月三が日、非常に暖かく平穏な三が日でございましたので、今年も1年間、まず平穏で平和な1年であってほしいというのを思っております。そして年度末がぼちぼち近づいてまいりました。年度末に向けて、今まで県議会としてこの平成29年度、二つの特別委員会を作って、それぞれの特別委員会で精力的に議論をいただいてきました。障がい者差別に関する特別委員会は、おそらく正副委員長案というんですかね、が、出されたというふうに聞いていますので、その議論を深めていただいて、一定の時期に条例化されることを期待したいと思いますし、働き方改革の方も非常にたくさんのところへ視察に行かれたと報告を受けておりますから、しっかりとした良い最終報告をいただけるのではないかと期待をしています。また、議会改革の方も二つのプロジェクトを起こしましたが、一つの方はいわゆる議会基本条例に危機管理条項を挿入しようという方向で議論をいただいておりますので、これも防災減災対策を今議論しておる中で、必要なことであり、しっかりとした議会基本条例になるように期待もしていきたいなというふうに思っています。また試行という形で委員長会議をお願いをしております行政部門別の常任委員長さんが、年度末に一年間活動してきた議論と経過を踏まえた中で、最終の委員長報告に政策提言の項目を入れてくださいというお願いがしてございますので、それも一年間の成果品としていい提言が出されたらいいなというふうに期待しております。年度が変わりますといよいよインターハイということになるわけでございます。スポーツイヤー二年目ということで、知事もおっしゃってみえますし、是非ともこのインターハイを成功裏に終えること、そしてそのインターハイを一つのステップアップの手段として、三重県の発信、それから飛躍を期待してほしいなというふうに今思っています。以上です。

(質問) ありがとうございます。副議長にもお願いします。

(副議長) 今年はですね、戌年でございます私年男でありますので、犬っというのはね、非常に社会性があり忠実であるというふうに言われております。

成年の方はですね、非常に勤勉で努力家であるといわれておりまして、私もそれに負けずにですね、この一年間しっかりと努力をしていきたいというふうに思っております。広報広聴会議の座長をしております私にとってはですね、やっぱり三重県議会の広聴広報の責任者という立場でありますので、こちらの方面からいろいろ今年の抱負を述べさせていただきたいなというふうに思います。発表事項にも申し上げましたけれども、今月22日に今年度二回目の「みえ現場 de 県議会」を鳥羽市で開催をさせていただきますけれども、この催しは広聴広報会議の主催でありますので、私が責任者としてしっかりと成功させていきたいと思っております。それから今年の代表質問あるいは予算決算常任委員会の総括質疑の中継で、いよいよ手話通訳が始まる予定になっております。録画に手話通訳を挿入するのではなくて、ライブで同時通訳を行う予定でありますので、トラブルの無いようにしっかりと実施できるように万全の準備をしていきたいとこのように思っております。当事者の皆さま方からも大きな期待をいただいておりますので、期待に応えるようにですね、しっかりと取り組んでいきたいというのがまず今年の思いでございます。それから多くの県民の皆さまには県議会活動へのさらに関心を持っていただくようにですね、広聴広報会議の座長として私の大きな役目であるというふうに思っておりますので、今後も県民の皆さまにより届く広報、県民の皆さまに近づく広聴を目指していきたいとこのように思っておりますので、どうぞ皆さま方の支援もよろしくお願い申し上げたいと思います。よろしく申し上げます。以上でございます。

第2回三重県議会「議員勉強会」の開催について

(質問) 議員勉強会なのですが、このタイミングで18歳選挙権を取り上げていうのは来年に選挙権が引き上げてから初めての県議選があるということも意識はされているのでしょうか。

(議長) 引き上げられてから衆議院選挙もありましたし、そのデータに基づくと、やっぱり期待されたほど投票率が高くなっていませんよね。まあ18歳が初めての経験ということで結構あたりする県もあったようですけども、おしなべて低いということ。まあ別に県議選を意識したわけではなくって県議選だけではなく、それぞれの首長選挙、それから議員の選挙というのは今年もいろんなところで行われるわけです。そうしたところに少しでも若い方が投票に行っていただき政治参加していただくには、私たちとしてこういった役割が果たせられるだろうということを学ぶためにこの講師先生にお願いをさせていただきました。講師先生は結構いろんな全国で講演会、学校での出前授業なんかもやっていますし、文科省や総務省の委員も務めてみえますので適任だろうと思って人選したところです。

議会改革について

（質問）年末の記者会見で、議会改革の具体的な方法であったりとか新しい取り組みについて尋ねましたが、年末年始に考えますということだったんですけど、何か思い浮かばれましたでしょうか。

（議長）餅食って、酒飲んで考えますって言いましたよね。記憶に残っております。お正月過ごさせていただきましてけれども、年度末に向けて今まで29年度進めてきたことがある面では一つの区切りとして、また、先ほど申し上げた特別委員会だとか議会改革だとかそういったところが前向きに成果品として出てくる可能性出てきてますので、それを議長としてサポートしていきたいというふうに落ち着きました。

（質問）そもそも、任期なんですけれども、記憶が曖昧なんですけれども就任の時に、議長就任の時にいつまで任期というか議長、お務めになられるかということには言及されてましたでしょうか。

（議長）議長立候補、所信表明のところで質問があった際に1年とお答えしました。記憶がございます。

（質問）そうすると任期までは残りそんなに多くはないと思うんですけれども、その中でやっていけることというのは成果品をサポートするという意味においてでしょうか。

（議長）期間的な限界がありますので、新たにここで一つの物事を起こしたり提案するというのは非常に難しいだろうなと思います。ただ、先ほど申しましたように行政部門別常任委員長さんの政策提言というのも試行的にやってくださいというふうな種は蒔いたつもりでございますので、それが今後、将来、花咲けばいいなというふうに期待をしています。

（質問）種という点で言えば、政務活動費の後払い方式、それから議員定数は当てはまるかわからないですけど、この2つについて、次の議長に引き継いで進めていってほしいなとか今後期待するところというのはあるのでしょうか。

（議長）私は議会改革のメニューとして後払いのことを提案させていただきました。それが議員全体のコンセンサスに至らなかったのは残念に思っています。次の議長さんが議会改革のメニューの中でご検討されるかどうかは次の議長さ

んのご判断だと思っています。

(質問) 導入するかしらないか、いずれにせよ、議論は続けていきたいというふうな思いは基本的に一致しているかと思うのですが、議会として、それについていかがですか。

(議長) 導入することがいいという一致を見たら成立しています。成立しなかったのは、現段階では理解を得られなかった、コンセンサスが得られなかったということですから、私としては断念しますというのを過去の定例記者会見で申し上げたとおりです。それをずっと次の議長さん、候補者が見てみえるでしょうから、その方が判断されたらいいと思います。

伊勢神宮の参拝について

(質問) 伊勢神宮の参拝で、議長としては安倍総理と共に参拝するというのは初めてですか。

(議長) 初めてです。初めての経験です。一つ中に入ったのも私は初めてです。

(質問) そうですか。何か総理との間でお話しをされたエピソードとか。

(議長) 特に会話はございませんでしたし、伊勢神宮への安倍総理との参拝は三重県議会議長の職務というふうに思っておりますから。

(質問) 何かご感想とかありますでしょうか。

(議長) いや職務として粛々と。

(以上) 10時53分 終了